

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	公表日				
なちゅら	2025年 3月 11日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20		・十分な部屋の面積がある。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員配置数は適切であるか。	18	2		・個別支援になった時に少人数が少ない。支援員数が増えたと余裕を持って支援にあたりたい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく明確化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に直し、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20		・スケジュール表の提供やマットの色を変えるなど、視覚支援を行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	20		・物品が整理されている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	20		・個別の部屋にもタオルタンをすすめる場としてお風呂を併用している。 ・状況に応じて個別の部屋やパーテーションでスペースを確保するなどの配慮を怠っていない。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	20		・専任職員は個別支援会議やモニタリングに参加し、協議を行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20		・ミーティング等で自由に意見を言える時間が確保されている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	8		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	19	1	・研修の全体周知される工夫をしている。	・外部研修に、より多くの職員を参加させたい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	20		・PT、OT、STの専門的目標で評価、作成をしている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、発達支援計画を作成しているか。	19	1	・アセスメントシートを利用して聞き取りなどを行い、情報を収集している。	
	13 発達支援計画を作成する際には、発達支援管理責任者だけでなく、こどもの発達に携わる職員が共通理解の下で、こどもの進歩の利益を考慮した検討が行われているか。	20		・個別支援会議に専任職員が出席して協議を行い、情報共有している。	
	14 発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20		・セラピスト、保育士等それぞれが意見を交わし、専門性を生かした支援を行えるようになっている。	
	15 こどもの発達の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する事により確認しているか。	18	2		・標準化されたツールを活用できている児童もいるが、出ていない児童もいる。
	16 発達支援計画には、発達支援ガイドラインの「発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援、地域連携」のわい及び支援内容も踏まえるが、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20		・その都度、相談しながら立案されている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	20		・送迎時に保護者様から現在の課題点など御確認確認を行っている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	20		・集団活動で楽しそうなお顔を個別で対応したり、練習したりしている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20		・午前、午後共に当日の確認を全員で行っている。	
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	18	2	・振り返りを行い、次回の支援内容に生かしている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20		・集団遊びや保護者様との会話も記入し、支援の経過が分かるようにしている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	20			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	20			
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	19	1	・支援会の参加や保育士等の支援場面見学を受け入れ、その際は情報共有に努めている。	
	26 併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保護者や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20		・見学に来てもらい、説明できている。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20			
	28 (28～30は、センターのみ回答)				
	29 地域の他の発達支援センターや障害児発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	30 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
保護者への説明等	31 (31は、事業所のみ回答)			・高知リハビリテーション専門職大と連携しており、先生方からの助言を頂ける環境になっている。	
	32 発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受けられる機会を設けているか。	19	1		
	33 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	12		・今後そういった機会も持てたらよい。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20		・支援時には両方してもらい、支援の内容や発達の状況等も伝えしている。	
	35 事業の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20		・ペアレントなどで情報を知らせている。 ・自治体が開催しているペアレントトレーニングに案内するなど情報提供をしている。	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20		・契約時に行っており、不明な際には随時説明をしている。	
	37 発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの発達の利益の優先考慮の観点から、こどもや保護者の意向を尊重する機会を設けているか。	19	1	・必ず説明している。	
	38 「発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から発達支援計画の同意を得ているか。	20		・個別支援で個別の事柄も、個別に承知している。 ・また月に1回情報交換の場も持っている。 ・アセスメントシート作成に確認している。	
	39 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	20			
	40 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	20			
非常災害への対応	41 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	8	12		
	42 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20		・毎月、月初めに相談支援の案内を行っている。	
	43 定期的に連絡帳を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、迅速な対応や予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	6	・LINEを使用し、発信している。	
	44 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20			
	45 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20		・絵カードなどを使用し、視覚支援を行っている。	
	46 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	14		・今後そういった機会も持てたらよい。
	47 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20			
	48 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、啓発その他の必要な訓練を行っているか。	19	1		
	49 事前に、地震や火災、人かみ事件等のこどもの状況を確認しているか。	20			
	50 食料アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	19	1	・アレルギーチェックリストを作成している。	・保護者への確認は行っているが、医師の指示書は確認できていない。
非常災害への対応	51 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	20			
	52 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	19	1		
	53 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っているか。	20			
	54 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20			
	55 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、発達支援計画に記載しているか。	19	1		